

施設概要

所在地：愛知県安城市大東町9-30
施設名称：三井ショッピングパーク ららぽーと安城
交通：JR東海道本線「安城」駅 徒歩10分
名古屋鉄道西尾線「北安城」駅 徒歩14分
敷地面積：約105,500㎡（約31,900坪）
店舗数：215店舗
駐車台数：約3,500台
営業時間：物販・フードコート 10:00～21:00
レストラン 11:00～22:00

※最終営業時間は店舗により異なります。
※一部、営業時間の異なる店舗がございます。
※営業時間に変更になる場合がありますので、最新情報はウェブサイトにてご確認ください。

地域と共創する商業施設

三井ショッピングパーク ららぽーと安城 STORY BOOK





LaLaport ANJO

愛知県初出店30店舗、ららぽーと初出店47店舗を含む215店舗が出店

ららぽーと安城の見どころ



ららぽーと安城の見どころ

ららぽーと安城の施設ポイント…………… P1

地域に根差した「ららぽーと安城」

三河の地域性…………… P6

ららぽーと安城が取り入れた地域性…………… P6

地域性を体現する施設づくり

1 : 三河の子育て・教育…………… P7-8

2 : 三河の産業…………… P9-10

3 : 三河の地域連携…………… P11-12

映像・音響・照明により圧倒的なイベント体験を提供する没入空間 迫力満点のリアル体験を提供する スタジアムコート「SAISONスタジアム」



✓ CHECK!

スタジアムコート「SAISONスタジアム」5つの特長

- ① 面積730㎡、4層吹抜、収容人数1,000人以上の大空間(ステージサイズ奥行5m×幅14m)
- ② メインビジョン(400インチ×1台)、リボンビジョン(吹抜周囲360度設置、高さ1m、全周70m)
- ③ テラスベンチ席440席以上、充電可能席110席以上
- ④ 専用音響・照明設備を完備
【音響】1F:YAMAHA CZR15スピーカー(9台)2-3F:サブスピーカー(23台)
【照明】LEDムービングライト(14台)、パーライト(22台))
- ⑤ 演者専用控室・更衣室完備

今後のスタジアムコート開催イベント情報(予定)

3×3エキシビジョンマッチ&デモンストレーションイベント

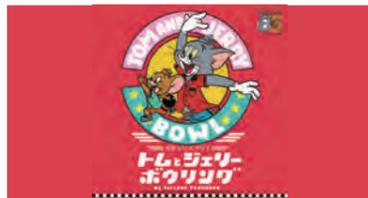
開催日:2025年4月19日(土)~20日(日)



女子バスケットボール日本代表として活躍する馬瓜エブリン選手(デンソーアイリス所属)のプロデュースにより、地元三河エリアを代表するWリーグチームによる3×3エキシビジョンマッチを開催

トムとジェリーボウリング

開催期間:2025年5月16日(金)~5月25日(日)



トムとジェリーがボウリング場へ遊びにきたような世界観の体験型POP UP SHOPが5/16(金)~期間限定で開催決定!

TOM AND JERRY and all related characters and elements © & ™ Turner Entertainment Co. (s25)

ANJOみんなのスポーツフェスティバル inららぽーと安城

開催日:2025年6月15日(日)



ANJOみんなのスポーツフェスティバル(共催:安城市/株式会社アイシン)のサテライト会場として、シーホース三河やアイシン ウィングスに関連したイベント等を開催予定。

※各イベントの詳細情報は、決定次第、順次公開させていただきます。 ※開催内容は予告なく変更となる場合がございます。予めご了承ください。

土地の歴史と地域の特産品を掛け合わせた商品企画 紡績糸×三河レンガをちりばめた 建物外装・外構デザイン



あいち県産材



✓ CHECK!

建物内外デザインにおける特長

- ① 従前の紡績工場(倉敷紡績(株)安城工場の一部)の紡績布地の縦糸と横糸、三河地方特産のレンガがモチーフ
- ② 外構仕上げに、三河産の舗装材・レンガを使用
- ③ 館内家具は、愛知県産木材を使用(一部のみ、刻印あり)
- ④ 館内の一部サインウォールは、地元デザイナー(安城市)がデザイン

地元高等学校との産学連携活動

安城農林高等学校による

「施設内花壇の造園」「農産物等の施設内販売」



✓ CHECK!

産学連携活動における特徴

- ① 施設内専用花壇への植花・造園(種苗は安城農林高等学校内で生徒が栽培・育成)
- ② 農業生産物の施設内販売(予定、農業生産物は安城農林高等学校内で生徒が栽培・育成)

三河の地域性

伝統と革新が調和する街、三河。

三河地域は愛知県東部に位置し、豊かな自然と歴史、そして独自の文化が息づいています。徳川家康ゆかりの地として文武両道を重んじる気風が残り、伝統のある学校や文化施設が数多く存在し、地域の人々の学習意欲を高めています。

また、大正時代末期から昭和時代初期にかけて、安城を中心とした三河地域は「日本デンマーク」と称されていました。農村を人間らしく生きる場とするための取り組みが、当時世界的な農業先進国であったデンマークになぞらえられていたためです。それから100年が経った今も、先進的な農業技術と高い生産性を誇る農業が盛んで、温暖な気候と肥沃な土地を活かした果樹栽培により作られるみずみずしい梨やイチジクは、全国的に高い評価を得ています。

さらに、三河地域は自動車関連産業が集積する、日本有数のモノづくりの拠点でもあります。高い技術力と革新性を誇る企業が



数多く存在し、日本の経済発展を支えています。このように、三河地域は、教育や子育てに対する熱意、産業への誇りを基盤に独自の文化を育んできました。現在も、自然と調和しながら、伝統を守りつつ、新しい技術や文化を取り入れることで発展を続けています。

ららぽーと安城が取り入れた地域性

地域性を色濃く吸収

三河の「子育て・教育」「産業」「地域連携」。

ららぽーと安城は、三河地域の「子育て・教育」「産業」のDNAを受け継ぎ、「地域連携」を強く意識した地域と共創する商業施設です。徳川家の武士道精神が息づく安城市の教育熱を尊重し、さまざまな習い事店舗を充実させるとともに、子どもたちの健やかな成長を後押しする日本一の商業施設屋上広場を企画。「日本デンマーク」と呼ばれる三河の農業発展を目指し地産地消を推進するとともに、安城農林高等学校との連携企画等を実施しています。

また、地域の特産品である「三河レンガ」を意識した商品企画や地元デザイナーの採用等による「地域に根差したモノづくり」を実践しています。

地域性を体現する施設であるららぽーと安城の、「子育て・教育」「産業」「地域連携」の観点におけるハード面・ソフト面・プロモーション面をご紹介します。



LaLaport ANJO 地域に根差した「ららぽーと安城」



地域性を体現する施設づくり

三河の
子育て・教育 編



地域の絆が育む、次世代の学び舎 三河流エデュテインメント

ららぽーと安城は、子育てファミリーにとって、安心・安全で、楽しく過ごせる施設です。充実した設備とサービスで、子どもの成長をサポートし、家族の思い出作りを応援します。遊具設置数日本一の屋上広場、“ホンモノ”をリアル体験できるスタジアムコート、さまざまな習い事教室、1階に集積したキッズ店舗など、地域の絆を育みながら次世代の学び舎となり得るポイントが多くあります。楽しい体験を通じて自然と知識や力が身に付く「エデュテインメント」を体感できる、家族みんなにとっての魅力がいっぱいの施設です。

HARD

遊具数日本一のルーフトップパーク

約3,800㎡の広さを誇るルーフトップパークには、幅広い年齢に対応した46台の遊具を設置。広場の過半は大屋根に覆われ、子どもたちは天候を気にせず自由にのびのびと体を動かし、発想力や身体能力を育みます。ピクニックのできる芝生フィールドなども完備し、大人も居心地の良い理想の空間を実現しています。



HARD

本格スポーツのリアル体験 スタジアムコート

大規模な屋内型スタジアムコートでは、音楽やスポーツイベントなど、あらゆるエンターテインメントを迫力満点の映像と音響、ダイナミックな光の演出で盛り上げます。“ホンモノ”を間近で体験することで得られる感動は、子どもたちの成長を後押しします。



SOFT

楽しみながらアート感覚を育成! チョークアート講座

ルーフトップパークには地面やフェンスにチョークでお絵描きできるエリアがあります。チョークアートイベントを全国展開する「株式会社CHALK'S」によるイベントを定期的に開催予定。手先を動かして美しいものを作り出す経験は、子どもたちのアート感覚を刺激します。



SOFT

施設を教育の場に! 学生による農産物販売会

隣接する愛知県立安城農林高等学校と連携し、施設を「教育の場」として提供します。学生は授業の一環として栽培した農産物を施設内で販売し、接客を含めた社会体験を得ます。安城の豊かな農業文化に触れながら、地域産業の担い手としての意識を育むことで、将来の地元産業を担う若者たちを力強く支援します。



HARD

子育てママの救世主 1階に集積したキッズ店舗

1階にはキッズ向けの店舗が8店舗集結。効率的に買い物ができます。子ども服やおもちゃなど、必要なものが一度にそろるので、お買い物もスムーズです。

SOFT

子連れでも安心! 豊富なキッズメニュー

大規模飲食ゾーンでは、半数以上の店舗がキッズメニューを提供。お子さまの好みに合わせてメニューを選ぶことができ、家族全員で食事を楽しめます。

HARD

未来のスターを育てる 充実の習い事教室

NOVA、パソコン教室、体操教室など、さまざまな習い事教室が9店舗出店予定であり、子どもの興味や才能を伸ばせる環境です。可能性を広げ、豊かな感性を育むお手伝いをします。

HARD

どこにいても安心 充実のベビーケア機能

屋上広場はもちろん、全フロアにベビーケア機能を設置しています。広い施設のどこにいてもお子さま連れのお客さまが安心して過ごせるよう、授乳室やおむつ替えなどの機能を充実させています。

HARD

コト消費を実現 体験型エンターテインメント

リトルプラネット、シネマ、アミューズメントなど、家族みんなで楽しめる体験型エンターテインメントが9店舗出店予定。笑顔と感動が生まれる、忘れられない思い出を提供します。

地域性を体現する施設づくり

三河の
産業編



五感で体感する伝統と革新 三河の産業力

ららぽーと安城は、農業とモノづくりの魅力を発信し、地域産業の活性化を目指す複合商業施設です。生産者と消費者をつなぐマルシェや、地元の名店が集まるグルメストリートでは、新鮮な農産物や食の喜びを五感で体感できます。また、三河特産のレンガを採用した建物外観・外構デザインや、職人・アーティストの技術を活かした建物細部へのこだわりなど、地域の特色あるモノづくりの魅力も発信。環境配慮型の施設運営により、次世代へつなげる持続可能な地域産業の発展を支援しています。

HARD

愛知県産木材の活用 地産地消と地元産業の拡大

本施設では愛知県産木材を施設内の椅子やテーブルに活用。上質な木材により温かみあふれる空間を作り出し、地産地消を推進しながら林業活性化に貢献。環境保全と地域経済の発展を両立させ、地元の皆様に未永く愛される施設づくりを目指しています。



SOFT

安城特産物の地産地消 鮮度抜群な農産物のマルシェ販売

地元の農家さんが、丹精込めて育てた新鮮な野菜や果物を販売。生産者から直接購入することで、安心感を得ながら旬の味覚を味わい、地域農業を応援できます。食卓を豊かに彩り、環境にも優しい生活へとつなげます。



SOFT

地元学校との連携 学生による施設花壇造園

安城農林高等学校の生徒たちが授業カリキュラムの一環として、自ら生産した観賞用植物を用いて本施設の花壇を造園します。農産物の未来を担う若い力を応援し、地域と学校が共に成長する場を創出しています。



HARD

地域愛を体現したデザイン 細部に表現された匠のこだわり

建物全体で地域特産の三河レンガをモチーフとしたデザインを採用しています。三河レンガ・舗装材を建物内部や外構に直接採用するとともに、館内2階の吹抜柱では紡績布を加工したデザインを採用するなど、職人・アーティストのこだわりが活かされています。



HARD

環境との共生 太陽光発電によるグリーン電力の活用

大和ハウス工業株式会社との協業により、建物屋上に約3,600枚の太陽光パネルを設置し、ららぽーと最大級となる年間発電量約219万kWhのオンサイト再生可能エネルギーを創出します。当該発電で得られたグリーン電力は、本施設の共用部および店舗に提供可能であり、館内で利用する年間電力使用量の1割以上を賄う想定です。



三河レンガとは？

明治時代から三河地方で作られ続ける三河レンガ。地元の粘土を1,000度以上で焼き上げる伝統的手法で生まれる赤茶色の温かみは、時を経るほど味わい深くなります。高い耐久性と耐火性を持ち、歴史的建造物の修復からモダン建築、ガーデニングまで幅広く活用される三河レンガは、単なる建材を超えた地域の誇りとして今も息づいています。



※写真はイメージです

地域性を体現する施設づくり

三河の
地域連携 編



三河愛を育む 新たな地域のコミュニティづくり

ららぽーと安城は、新たな地域コミュニティの場となり、地域とともに施設が発展していく「地域共生」を目指しています。「こどもたちをいちばん応援するまち」を表明する安城市と連携協定を締結するとともに、子育て支援施設との連携イベントの開催、地元企業との連携、安城農林高等学校とのコラボレーション等により、着実に地域とのつながりを深めていきます。これらを通じて、ららぽーと安城は、地域への愛着を育むきっかけを作り続けていきます。

SOFT

タッグを組んで子育てを応援 安城市との子育て連携

安城市との子育て連携を踏まえ、地域の子育て支援施策と連携したイベント・サービスを提供。子育て情報の共有や、地域の子育て支援団体と協力等により、子育てファミリーをサポートします。



SOFT

安城市との連携 地元スポーツチーム応援

「ANJOみんなのスポーツフェスティバル（共催：安城市/株式会社アイシン、6月開催予定）のサテライトイベントを皮切りに、地元B1リーグチーム「シーホース三河」や安城市ホームチームのWリーグ「アイシン ウィングス」等との連携イベントを通じて、地域のスポーツ振興を応援します。



SOFT

安城農林高等学校と共作した 開業記念装飾の展示

安城農林高等学校フラワーサイエンス科の学生と共作した開業記念装飾を館内で展示。華やかなフラワーアレンジメントをあつらえた開業装飾でららぽーと安城を彩ります。

PROMOTION

地域と共に創る、未来への架け橋 地元企業との取り組み

三河エリアを支える地域金融機関等と連携し、ららぽーと安城から地域商店等への送客施策や各種キャンペーンを開催予定。三河エリアの地域経済振興・活性化へとつなげます。

HARD

地域の歴史と産業をつなぐ 愛着を育む館内デザイン

スタジアムコート2Fの6本の柱には、三河安城の地で長年操業しているクラボウ（倉敷紡績株式会社）が製造した布を使ってアートパネルを設置。地域の繊維工業の歴史を後世に伝えるとともに、地域への愛着とシンビクプライドを育みます。



SOFT

地元幼稚園・保育園との連携 施設内への園児作品の掲示

紡績の縦糸・横糸をデザインモチーフとした施設内ギャラリー（3F）において、地元の園児が描いた作品を展示。ららぽーと安城の建つ土地の紡績の歴史とららぽーと安城の未来を紡ぎます。

SOFT

地域のみなさまの信頼の証 地元拠点企業2店舗の出店

大規模飲食ゾーンには、地元で長年愛されてきた名店が2店舗出店。ここでしか味わえない、こだわりの味を堪能できます。

PROMOTION

安城七夕まつりと連携 七夕まつりイベントの開催

2025年8月に開催される「第72回安城七夕まつり」のイベントを開催。また、七夕まつり期間中はららぽーと安城でも様々な特典をご用意し、地域の一大まつりを地域のメンバーと一緒に盛り上げます。



HARD

地域環境との共生 生物多様性の核となる緑化計画

本施設では周辺の農地・緑地や明治用水と連続性を持たせた緑化計画を実施。敷地内に生物多様性の核となる「LaLaFOREST」と、保存大樹による「Memorial GREEN」等を配置することで、地域の生態系ネットワークを強化し、自然と共生する環境づくりを推進しています。

